

視する立場と現象の過程の解明を重視する立場からの発言がなされた。予測及び研究の両面から高分解能データの必要性が改めて認識された。研究観測データに加え気象庁の保有するより多くのデータ（格子点データ等を含む）の研究活動への即時的・非即時的提供を望む発言があった。効果的な研究観測の展開にあたって、大学、研究機関に加え、気象機関の参加協力が

が必要だとする発言もみられた。

総合討論としてはやや議論が収斂しなかったが、メソスケール気象の研究範囲は広く、この時点で統一見解を得る必要性も無いと思われる。平凡な結論であるが、それぞれが研究を充実させ、アイデアを出し、討論し、相補い協力し総合的な研究、特に field experiment を進めることが大切であることが、認識された。

1998年度「三宅賞」の受賞候補者および研究助成候補者の募集

標記の賞・助成は、三宅泰雄教授退官記念事業として1972年に設立された地球化学研究協会が運営しているものです。賞・助成の応募には推薦者が必要ですが、推薦者は学会でなくても構いません(自薦も可)。気象学会として「三宅賞」に推薦するにふさわしい方をご存じでしたら、1998年6月末までに日本気象学会までお知らせ下さい。研究助成に日本気象学会の推薦により応募したい方は、下記締切日の3週間前までに日本気象学会まで申請して下さい。詳しい応募要領や応募用紙は日本気象学会にあります。

三宅賞

1. 対象：地球化学に顕著な研究業績をおさめた科学者
2. 表彰内容：賞状、副賞として賞牌および賞金30万円
3. 件数：1年1件（1名）
4. 応募方法：規定の用紙に候補者の推薦対象となる研究題目、推薦理由（400字程度）、主な論文に略歴をそえて協会事務所までお送り下さい。
5. 応募締切：1998年8月31日

6. 応募先：〒166-0002

東京都杉並区高円寺北4-29-2-217

地球科学研究協会

TEL・Fax：03-3330-2455

研究助成

1. 対象：地球化学の研究者で、海外における学術調査研究などに参加する者、ならびに海外のシンポジウム等に出席し論文を発表する者のうち、各締切日に満40歳までの者。

2. 助成内容：1件10万円

3. 件数：1年に数件

4. 応募方法：規定の用紙に、海外調査に関しては略歴、研究業績、調査地（国名・地域名）、調査目的・計画、推薦理由、同行者などを記入し、海外のシンポジウム出席については略歴、研究業績、国際会議名（主催団体・開催場所・開催年月日）、論文題目、推薦理由等を記入して、協会事務所までお送り下さい。

5. 申込締切：第1回は1998年8月31日、第2回は1999年1月15日

6. 申込先：三宅賞と同じ